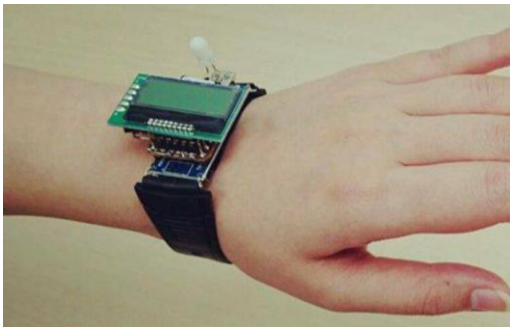


2017年5月22日

株式会社 神戸デジタル・ラボ

神戸デジタル・ラボ、雷を検知する IoT リストバンドをオープンソース化 —IT による人命救助への貢献を目指す—



雷観測リストバンド装着イメージ

株式会社神戸デジタル・ラボ（本社：兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長：永吉 一郎、以下 KDL）は、5月17日、雷雲の動きをセンシングして雷を予測し、リストバンドのディスプレイに通知する IoT システム搭載のリストバンド（以下、雷観測リストバンド）のプロトタイプを、オープンソースハードウェアとして公開したことを発表いたします。

GitHub 上での公開ページ：

<https://github.com/kobedigitallabo/thunder-watcher>

■雷観測リストバンドとは

雷観測リストバンドは、神戸デジタル・ラボの新事業創造係 IoT 班のメンバが、ルワンダ共和国との連携を進める神戸市の取り組みでルワンダ共和国を訪れた際に、雷の被害による死者の多さを知り、IT によって少しでも人命救助に貢献できないかと考えたことからプロトタイプ版として開発されました。

雷被害の対策としては、観測情報の提供や、避雷システムの開発等が普及しています。しかし自ら情報を取得する必要だったり、定点での対策のため一般に生活する方の日常的な人命救助の対策としては限界がありました。

観測機器を普段の生活から身につけるようにウェアラブル化する事で、リアルタイムに災害からの早期避難を促すことができます。また、安価なデバイスを多くの人々に普及させることで、経済発展につなげる効果も期待できます。



■オープンソース化の背景



「トランスフォーラムアフリカサミット 2017」での
展示の様子

雷観測リストバンドはこれまで KDL が参画する一般社団法人スーパーセンシングフォーラム（※1）を通じて展示会等で紹介されているほか、ルワンダ共和国・キガリ市で開催された ICT によるアフリカ開発の会議「トランスフォーラムアフリカサミット 2017」（※2）や IoT に関する書籍でも紹介され、大きな反響をいただいております。

KDL では、雷観測リストバンドのプロトタイプをオープンソースハードウェアとして公開することで、実際の利用によるフィードバックや要望をいただき、多くの方とともに改良してより質の高いものにすることで人命救助に寄与できることを期待しています。

本取り組みにご賛同いただける方は、開発、フィードバックへのご参加をお待ちしております！

※1 一般社団法人スーパーセンシングフォーラム・・・

日本の「センシング・デザイン」という新たな産業を育成するために設立された団体。センサー関連企業やソフトウェア企業、データを活用する企業や、大学、研究機関が加入し、SoT（Sensor net of Things）をテーマとしたラピッドプロトタイプ製品の創出を目指す。

URL : <http://supersensingforum.com/>

※2 トランスフォームアフリカサミット 2017

平成 29 年 5 月 10 日～12 日に開催された、ICT を使ってアフリカの開発をどのように進めるかをテーマにした国際会議。アフリカ諸国との関係構築・強化のため神戸市が参加。神戸市ブースで雷観測リストバンドを展示した。

URL : <https://www.smartafrica.org/tas17/>

【発表者概要】

株式会社 神戸デジタル・ラボ

代表者 : 代表取締役社長 永吉一郎

所在地 : (本 社) 〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町 72 番地 新クレセントビル

設立 : 1995 年 10 月

資本金 : 2 億 995 万円

従業員数 : 167 名 (2017 年 1 月現在)

URL : <http://www.kdl.co.jp/>

※プレスリリースに記載されたサービスの価格、仕様、内容、お問合せ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】 ※取材など随時対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

株式会社 神戸デジタル・ラボ 新事業創造係 IoT 班

担当 : 中西 波瑠 (なかにし はる)

TEL : 078-327-2280

E-mail : info@kdl.co.jp